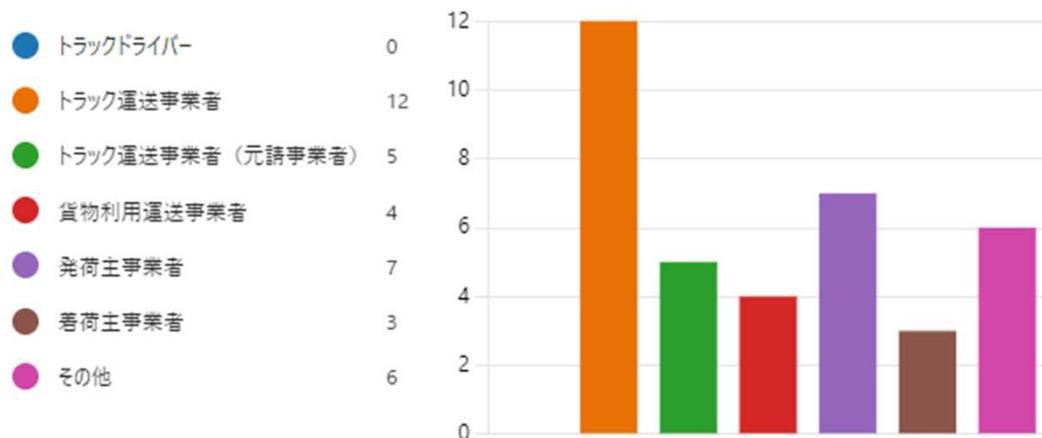


- ① 最近のトピック（各省報道発表資料等）
- ② **前回参加いただいた皆様のご感想**
- ③ 事前にいただいた問題意識等共有
- ④ 2024年問題の背景、物流への影響、政府・国会の動き
- ⑤ 荷主対策の深度化（働きかけ、トラックGメン等）
- ⑥ トラックGメンの積極的対応（パトロール・オンライン説明会）
- ⑦ 標準的な運賃
- ⑧ 原価計算・運賃交渉について
- ⑨ **参考資料紹介**
 - ・ 2024年問題への対策（政策まとめ）
 - ・ 補助制度について
 - ・ 働きかけ・要請の実施事例
 - ・ 物流効率化に向けた取組み事例紹介

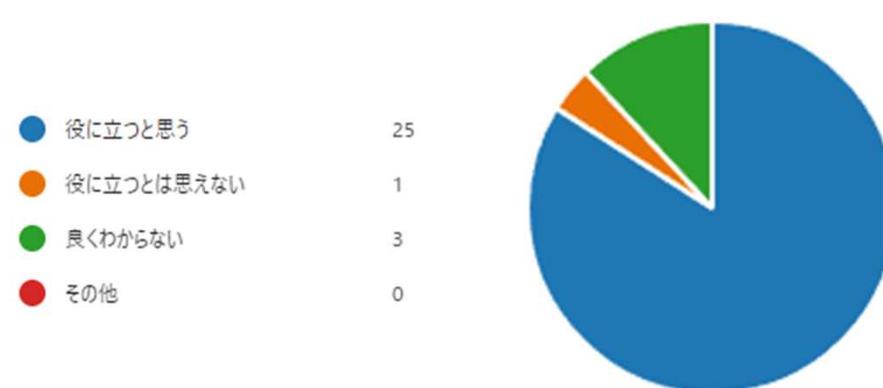
説明会参加人数 約112名※、アンケート回答数29件 (回答率25.8%) 4/15時点

※運輸局関係者除く

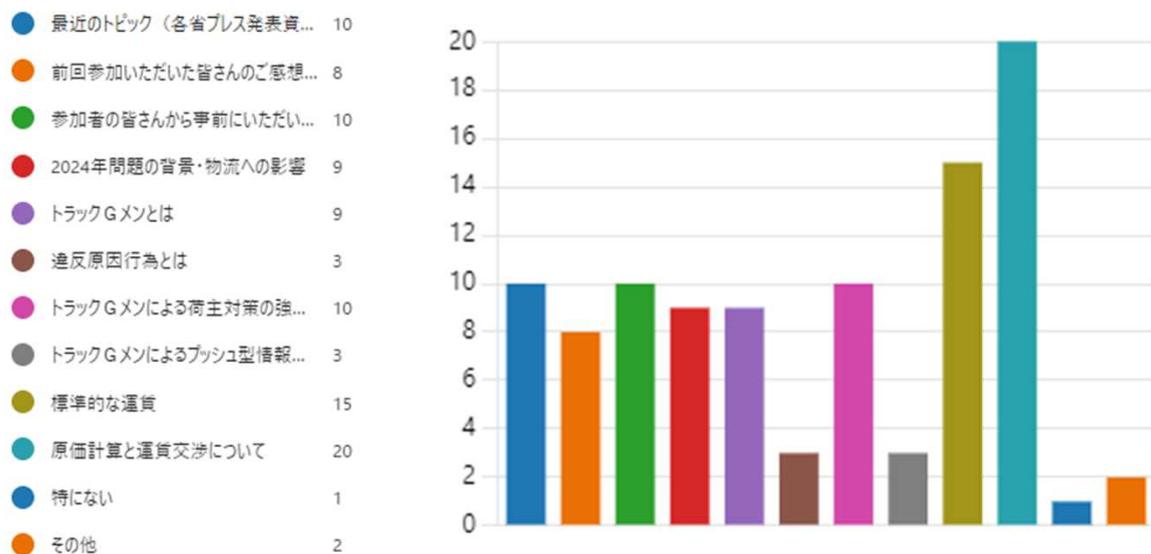
○回答者 (複数回答あり)



○活用度「今回の説明内容は今後業務に役立ちそうか？」



○興味深かったテーマ



具体的な感想

- 荷主へ運賃交渉する上で違う角度でのアピールも考えられるようになったと思う。また、輸送運賃とは別に付帯作業の積算方法がよく理解できたので、運賃を含め交渉に活かしたい (トラック運送事業者)。
- 社内にて説明会の情報共有をしていく事で、改善等に役立つと思われます (トラック運送事業者)。
- 物流事業の原価管理に本格的に取り組む必要性を感じた (発・着荷主事業者)。
- 原価計算の方法、並びに労務費上昇による価格転嫁方法の説明に関心を持った (発・着荷主事業者)。

具体的コメント(一部)

Q. 運賃改定交渉、業務効率化に関してご提供いただける情報があればお寄せください（成功例、失敗例どちらでも結構です。）。

A. トラック運送事業者の皆さんから

- 全国県庁所在地までのグーグルマップからの距離を提示。距離感の理解がない事も事実で、この距離を明確にしてあげることで、標準的な運賃と現在無理をして対応が出来ている実態との乖離が進みやすくなっています。
- 当社も原価計算をして荷主に料金交渉をしておりますが、開示できない部分については、手持ち資料として口頭で説明を行っています。荷主の2024年問題に対する取り組み方の濃淡が有り、意識が低い会社については時間をかけて説明しています。

A. 元請トラック運送事業者の皆さんから

- 社内での問題意識の高まりか。検討していただけるようになっている。(回答はまだなし。)

A. 荷主事業者の皆さんから

- 4月より協定運賃改定実施。積込み荷待ち時間削減の為、構内複数個所積込みから、ホーム集約積込みを推進。